

日本地球化学会 2007 年度第 4 回評議員会議事録

日時：2007 年 9 月 21 日 13:00 - 13:30

場所：岡山大学 一般教育 B 棟 B209 号室

出席者：松田 准一 会長，蒲生 俊敬 副会長，天川 裕史，岩森 光，植田 千秋，小畑 元，千葉 仁，角皆 潤，中井 俊一，日高 洋，平田 岳史，益田 晴恵，南 雅代，山本 鋼志（以上現評議員），佐野 有司，鈴木 勝彦，松本 拓也，野尻 幸宏，三村 耕一，奈良岡 浩，中塚 武（以上次期評議員）

1. 2004-2005 年度評議員会からの申し送り事項への対応

松田会長から、前評議員会からの申し送り事項とそれに対する対応について説明があった。

2. 2008-2009 年度評議員会への申し送り事項

- 1) 地球化学が主導する学術活動（いくつかの分野での科学研究費など）の立ち上げを実際に実行してほしい。
- 2) Geochemical Society などに対し、Council 選挙のときには、日本地球化学会からも候補者をたてるなど、積極的な参入を是非してほしい。
- 3) Goldschmidt 会議での GJ 賞の授賞式は継続してほしい。そのために次期開催地の委員会と密接に連絡をとること、また Goldschmidt 会議での日本地球化学会の PR（ブース展示など）を積極的に行ってほしい。また、Goldschmidt 会議でのセッションの提案も積極的に行ってほしい。
- 4) アジアにおける地球化学の連携を是非推進してほしい。
- 5) 年会開催時のルール（学会として決めてある事項、LOC が決めて行う事項、など）の確立を行ってほしい。
- 6) GJ の完全電子化に向けた準備をしてほしい。
- 7) 地球化学の年発行回数について検討してほしい。
- 8) 評議員の選挙方式について、地域ブロック制の是非を含め再検討してほしい。
- 9) 会員の増強について、終身会員の創設なども含めさらに検討してほしい。また、年会参加費の割引などもふくめ、会員であることのメリットを十分明確にしてほしい。
- 10) ホームページ上での質問応答、プレス発表なども含め、社会への PR も積極的に行ってほしい。
- 11) 会費未納者の取り扱いについて、しっかりしたルールを確立してほしい。
- 12) 名簿発行の是非について検討してほしい。
- 13) 地球化学講座の全巻完成をめざしてほしい。